

もったいない

URL: <https://youtu.be/W3oQbY-MKa4>

今日は "もったいない" を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しうっくりのスピードで、漢字には "ふりがな" があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に "ふりがな" はありません。
学習にお役立てください。

■わたしのこと

わたしの名前はディーです。出身はタイで、今は大阪に住んでいます。日本に
来て三年になります。日本人はやさしくて、まじめな人が多いと思います。
わたしは日本語をもっと上手になりたくて、毎日勉強しています。

ある日、日本の友だちといっしょにごはんを食べていました。おなかがいっぱ
いで、少しごはんをのこしたとき、友だちが「もったいないね」と言いました。
わたしは初めて聞いたことばだったので、意味がわかりませんでした。

「もったいない」ってどういう意味? と聞くと、友だちはやさしく教えてく
れました。 「まだ使えるのにするのはざんねん、だから大切にしたいという
気持ちだよ」と言いました。そのとき、わたしは「いいことばだな」と思いま
した。日本人は、物を大切にする心を持っていると感じました。

それから、日本で生活をする中で、いろいろな場面で「もったいない」という
ことばを聞くようになりました。食べ物だけでなく、時間や物、人との関係に
も使うことを知りました。このことばには、やさしさとかんしゃの気持ちがあ
ると思います。わたしもこれから「もったいない」の心を大切にして、生きて
いきたいです。

■ 「もったいない」ということばのきもち

「もったいない」ということばは、日本でとてもよく使われます。日本の人にとって大切な心をあらわすことばです。意味は「まだ使えるのに捨てるのはざんねん」「大切にしたい」というきもちです。わたしはこのことばを聞いたとき、ただのことばではなく、人のやさしい考え方だと思いました。

日本のは、物を使うときに「もったいない」と言います。たとえば、食べ物をのこしたり、水を出しっぱなしにしたりすると、「もったいない」と言われます。それは、物を大切にしたい、むだにしたくないという心から出ることばです。日本では、昔から物を長く使うことがよいとされています。

このことばは、物だけでなく、心や時間にも使われます。たとえば、「いいチャンスをのがすのはもったいない」と言います。それは、時間やできごとを大切にする考えです。また、人のきもちや思いをむだにしないことにも「もったいない」というきもちが使えます。

「もったいない」は、日本の文化の中にあるやさしい心のことばです。わたしはこのことばを知ってから、にじょうの生活の中でもきをつけるようになりました。水や電気をむだにしないようにしたり、物をさいごまで使ったりします。このことばを思い出すと、何かを大切にするきもちが強くなります。日本の「もったいない」という考えは、世界の人にもわかってほしいうつくしい心だと思います。

■ 食べ物を大切にする日本の考え方

日本では、食べ物を大切にする心がとても強いです。ごはんをのこすと、「もったいない」と言われます。わたしも日本に来てから、それを何回も聞きました。日本人は、食べ物を作ってくれた人やしぜんにかんしゃして、食べることを大切にしています。

日本では、しょくじの前に「いただきます」と言います。このことばには、「食べ物をくれてありがとうございます」という気持ちがあります。そして、食べおわったあとには「ごちそうさま」と言います。これは、「おいしいしょくじをありがとうございました」というあたたかいあいさつです。この二つのことばを聞くと、日本人が食べ物をどれだけ大切にしているかがわかります。

たとえば、食べ物をのこすとき、日本人は「せっかく作ってくれたのに、もったいないね」と言います。そのことばには、作ってくれた人への思いやりと、食べ物へのかんしゃの気持ちがこめられています。

日本では、学校でも「食べ物をむだにしないようにしましょう」と教えます。子どもたちは、食べられる分だけよそって、さいごまで食べるようになっています。こうした小さな行動が、食べ物を大切にする文化をつくっています。

わたしも日本でくらすうちに、食べ物をむだにしないように気をつけるようになりました。食べ物を大切にすることは、人にもちきゅうにもやさしいことだと思います。「もったいない」ということばを思い出すたびに、そのやさしい心を感じます。

■物をするときの「もったいない」

日本では、物をするときにも「もったいない」と言います。たとえば、まだ使えるのにすててしまうと、「それはもったいないね」と言われます。このことばには、物を大切にしたいという心がこめられています。

日本のは、古い物でもすぐにはすてません。こわれた物は、なおして使うことが多いです。たとえば、ふるいかばんのボタンをつけなおしたり、こわれたイスをなおしたりします。なおせば、また使うことができるからです。

また、日本にはリサイクルショップやフリーマーケットがたくさんあります。どちらも、使わなくなった物を売ったり、買ったりできます。物をすてないで、ほかの人が使うことで、むだがなくなります。

日本のは人は、こうした考え方を大切にしています。物を長く使うことは、ただのせつやくではなく、しぜんを大切にすることにもつながります。わたしも日本でくらしてから、すぐに物をすてないように気をつけています。こわれた物をなおすと、なんだかうれしい気もちになります。

「もったいない」ということばには、物を大切にして、しぜんをまもるという考え方が入っています。わたしは、この日本の心がとてもすばらしいと思います。

■ 時間やチャンスを大切にする気もち

日本では、時間やチャンスに対しても「もったいない」と言います。たとえば、「時間をむだにするのはもったいないね」と言う人が多いです。このことばには、「今を大切にしたい」という気もちがこめられています。

日本のは人は、時間をじょうずに使うことを大切にしています。朝のじゅんびを早くしたり、よていをしっかりたてたりします。わたしの日本の友だちは、よく「早めに行こう」と言います。時間をまもることが、まわりの人への思いやりになると教えてくれました。

また、「せっかくのチャンスをのがすのはもったいない」という言い方もあります。たとえば、何かにチャレンジするチャンスがあるのに、やらないままにすると、あとでこうかいするかもしれません。そのときに「もったいない」と感じます。

このことばは、時間やチャンスだけでなく、人との時間にも使えます。友だちと話す時間、かぞくとすごす時間も大切です。日本のは人は、その時間を楽しみながらすごすことを大事にしています。

わたしも日本に来てから、時間の使い方をよく考えるようになりました。だらだらすごすより、できるだけいい時間にしたいと思います。「もったいない」ということばは、今の時間を大切にしようという、あたたかいメッセージだと感じます。

■世界にひろがる「MOTTAINA！」

「もったいない」ということばは、日本だけでなく世界にもひろがっています。ケニアのワンガリ・マータイさんという人が、日本でこのことばを知り、とてもすてきだと思って世界の人に伝えました。マータイさんは、ちきゅうを大切にする活動をしていた人です。

マータイさんは、「もったいない」ということばの中に、しぜんをまもる心があると話しました。たとえば、物をむだにしないことや、ごみをへらすことには、ちきゅうのためにになります。日本の「もったいない」という考えは、ちきゅうをまもるための大切な考え方と同じです。

このことばは、世界のいろいろな国で使われるようになりました。日本語のまま「MOTTAINA！」と言う人もいます。

日本では、小学校でも「もったいない」の心を学びます。先生は、物を大切にして、ごみを少なくすることを教えます。子どもたちはその心をおぼえて、大人になってもつづけます。

わたしもこの話を聞いて、とてもすてきだと思いました。「もったいない」は、日本のことばだけど、世界中の人がわかる心だと思います。物やしぜんを大切にするこの考えが、もっと多くの人にひろがってほしいです。

■わたしが日本で学んだこと

わたしは日本でくらすようになって、「もったいない」ということばをたくさん聞くようになりました。はじめは日本人だけが使うことばだと思っていたましたが、今ではわたしの生活の中にもあります。

むかし、わたしの国では、こわれた物はすぐに捨てていました。新しい物を買う方が早いと思っていたからです。でも、日本でくらしてから考えがかわりました。日本の人人が古い物をなおして使っているのを見て、「捨てるのはもったいない」と感じるようになりました。

わたしの日本の友だちは、こわれた物をなおすのがとくいです。ペンやかばんなど、少しこれてもすぐにすてません。「まだ使えるよ」と言って、なおして大切に使っています。そのような姿を見て、わたしもまねをするようになりました。

今は、物をする前に「まだ使えるかな？」と考えるようになりました。時間や食べ物も同じです。むだにしないように気をつけています。

「もったいない」ということばを知ってから、わたしの毎日が少しあたかくなったりします。物や人を大切にすることは、自分の心も大切にすることだと思います。これからも「もったいない」の心をわすれずに生きていきたいです。

■明日からできる「もったいない生活」

「もったいない」の心は、だれでも毎日の生活で使うことができます。大きなことをしなくとも、小さな行動から始めることができます。わたしも日本でくらす中で、少しづつできることを見つけました。

たとえば、食べ物をのこさないように気をつけます。食べる分だけおさらになせて、さいごまで食べます。いらない物が出たら、すぐにすてずに「まだ使えるかな？」と考えます。使わなくなった物は、ほかの人にあげたり、リサイクルショップに持って行ったりします。

電気や水も大切です。出しっぱなしにしないようにして、むだをへらします。時間も同じです。だらだらすごさずに、少しでもよい時間にしたいと思います。

こうした小さな行動でも、「もったいない」の心を大切にすることができます。むだをへらすことは、自分のためにも、ちきゅうのためにもなります。

わたしは、これからも「もったいない」を思い出しながら生活したいです。物や時間を大切にすると、毎日がもっとやさしく、気もちよくなると思います。

「もったいない」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI

